

癌化学療法プロトコール

氏名: _____
 ID: _____
 体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

プロトコール名 **Pola-BR療法**
 対象疾患 再発又は難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫
 診療科 血液内科
 施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

	投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
day1					
①	セレスタミン カロナール	1錠内服 400mg/回(2錠)			リツキシマブ投与 30分以上に服用
②	生食	1000mL			血管確保とフラッシュ(24時間かけて)
③	リツキシマブ	375mg/m ²		生食で10倍希釈	特記事項参照
day2					
①	生食	1000mL			血管確保とフラッシュ(24時間かけて)
②	ドクロルフェニラミン	2mg/錠			ポライビー投与30分前に内服
	カロナール	600mg/回(3錠)			
③	グラニセロン バッグ	3mg/50mL(1袋)		混注	15分かけて
	デキササート	6.6mg/2mL(2A)			
④	ポライビー	1.8mg/kg		生食100mL 特記事項参照	90分かけて(特記事項参照)
⑤	生食	50mL			ポライビーと同じ時間かけて投与
⑥	ベンダムスチン	90mg/m ²		生食500mL	2時間かけて(総量500mL)
day3					
①	生食	1000mL			血管確保とフラッシュ(24時間かけて)
②	グラニセロン バッグ	3mg/50mL(1袋)		混注	15分かけて
	デキササート	6.6mg/2mL(2A)			
③	ベンダムスチン	90mg/m ²		生食500mL	2時間かけて(総量500mL)

2 投与方法の図式

時間 (hour)	1	2	3	4	5
day1					
①セレスタミンなど	↓				
②生食					→
③リツキシマブ					→
day2					
①生食					→
②カロナールなど	↓				
③グラニセロンなど	→				
④ポライビー		→			
⑤生食			→		
⑥ベンダムスチン					→
day3					
①生食					→
②グラニセロンなど	→				
③ベンダムスチン			→		

3 投与スケジュール

1クール21日間。リツキシマブは1日目、ポライビーは2日目、ベンダムスチンは2・3日目に施行する。6コースまで

4 特記事項 (2)

- リツキシマブの初回は50mL/hで1時間、100mL/hで1時間、残量を200mL/hで点滴を行う。2回目以降は医師の判断において100mL/hから開始できる。
- リツキシマブ点滴時は30分毎にバイタルを確認する。
- ポライビーは注射用水で溶解(30mg:1.8mL, 140mg:7.2mL)し、濃度が20mg/mLとなる。
- ポライビーは初回投与は90分かけて。2回目以降は忍容性が良好であれば30分まで短縮可。
- ポライビーは投与量が75mg以上の時は生食100mL, 75mg未満であれば50mLで希釈。
- ポライビーは0.2又は0.22µmインラインフィルターを通して投与すること。
- ST合剤やアシクロピルの予防投与を考慮する。